

## 会 議 録

会議の名称	第5回 飯塚市文化施設活用検討委員会
開催日時	令和4年9月30日（金） 15:00～17:15
開催場所	飯塚市役所 7階 委員会室
出席委員	竹川委員長、河副委員長、徳永委員、瓜生委員、志村委員、 長曾我部委員、大石委員、寺田委員、早川委員、田上委員、 眞鍋委員、奥田委員
欠席委員	田中委員、榎本委員、福丸委員
事務局	【文化課】 坂口課長、久原文化施設整備担当参与、吉田文化施設整備推進係長、西田  【商工観光課】 小川課長、柴田課長補佐、田中観光係長
会議概要	1 開会 2 委員長あいさつ 3 議題 3-1 嘉徳劇場と地域経済の活性化 3-2 中間答申について 3-3 新たな嘉徳劇場が目指す姿について 4 その他 5 閉会
会議資料	資料1 飯塚市中心市街地活性化ビジョン 資料2 長崎街道 飯塚宿 資料3 欠番 資料4 中間答申の構成と概要（案）
公開・非公開 の別	① 公開                      2 一部公開                      3 非公開

## 会 議 録

	(傍聴者 0 人)
その他（非公開理由等）	
会議内容	<p>1 開会</p> <p>2 委員長あいさつ</p> <p>3 議題</p> <p>3-1 嘉徳劇場と地域経済の活性化</p> <p>●事務局より資料1、2について説明</p> <p>飯塚市の中心商店街は、本町、東町、昭和通り、吉原町、新飯塚の五つの商店街で構成されており、中には長崎街道の一部としても位置づけられ、嘉徳劇場と目と鼻の先といった位置関係の商店街もある。中心商店街を含む商業の課題としては、人口減少、来街者の減少などがあるが、商店街にタウンマネージャーを配置するなどして、課題の解決を図っているところである。嘉徳劇場の再開までにはもう少し時間がかかると思うが、商店街との事業連携や観光分野での文化観光施設とのタイアップ、観光商品の造成など、今まで以上に取り組んでいきたい。また、本委員会での意見についても、必要に応じてタウンマネージャーや関係団体などに報告したいと考えている</p> <p>【質問・意見等】</p> <p>① タウンマネージャーについて</p> <p>委員長：嘉徳劇場の活性化に関わるような仕事をするタウンマネージャーがいるのか。</p> <p>事務局：まずは商店街の活性化のためにタウンマネージャーを配置している。嘉徳劇場は近くに存在する施設なので、当然相互に連携をしながら中心商店街を盛り上げていくような役割となる。</p> <p>委員長：そのような人物にオブザーバーとして参加してもらい、意見交換ができればよいと思う。</p> <p>② 福岡県の観光の取り組みについて</p> <p>委員：福岡県は2020年度に福岡県の観光指針を作成している。4つの基本</p>

## 会 議 録

方針として「旅行消費額の拡大」「旅行者の県内各地への来訪促進」「デジタルマーケティングの推進」「持続可能な観光の推進」を挙げている。近年はコロナ禍によって観光者数は減少していたが、今年に入り回復基調にある。依然として外国人観光者は厳しい状況にあるが、そのような中でも旅行需要の喚起の取り組みを行う予定としている。今後も県内の観光資源の磨き上げや受け入れ体制の強化を図ること考えている。

副委員長：嘉穂劇場の魅力を活かすには外国人観光者は無視できない存在である。しかし、海外のウェブサイトを見ると、福岡県の知名度は高いが飯塚市は全然出てこない。福岡県を検索したときに飯塚市が出てくるような取り組みが重要だと思う。

委員：インバウンドで言うと、1つの施設の中で様々な日本文化体験ができる施設が外国人観光者に好評だった事例がある。やはり、他のエリアとは違う何かを提供できれば知名度は上がるのではないかと。

### ③ 商店街近隣の駐車場について

委員：商店街に新規店舗を展開し、市外の観光者を呼び込むという考えは正しいと思うが、その際の交通手段としてはバスや自家用車が大半を占めると考えられる。現在、商店街の近隣には受け入れるだけの駐車場が整備されているのか。

事務局：近隣では市営の駐車場がある。また、河川敷にも駐車場はあるが、民間の駐車場を含めると、正確には把握していない。今後は駐車場も含めた周遊・回遊のための対策を講じていきたい。

委員：市営の大きな駐車場がコスモスコモンのところにあるが、土地勘が無い場合分かりにくい。目印があればよいのではないかと。

事務局：今後は情報発信にも注力したい。

### ④ 近隣宿泊施設や飲食店について

委員：観光者が嘉穂劇場を観劇や見学するにあたり、滞在方法は日帰りまたは宿泊となると思うが、嘉穂劇場周辺の宿泊施設に関してはどうなっているのか。

委員：宿泊事業者の立場では、平日の稼働率が問題となるのではないかと。

## 会 議 録

飯塚市は車で移動することが多いエリアなので、日帰りが多く、その結果、宿泊施設数が多くないのではないかと思います。しかし、飯塚市に宿泊しても、日中に他の市などに行くと飯塚市の消費が落ちる。逆に他の市に宿泊して飯塚に来てもらうほうが消費が増える可能性があるように感じる。

委員：旅行において食事は大事な要素だと思うが、飯塚市内で大人数に対応でき、さらに飯塚の魅力を引き出せるような飲食店についてはどのようにしているのか。この点は都市づくりという観点になるのかもしれないが、せっかく嘉穂劇場に来てもらっても、食べる場所がないのが課題だと思う。

### 3-2 中間答申について

#### ●事務局より資料3を説明

#### 【質問・意見等】

#### ⑤ 劇場の持続的な運営について

委員：他市町村にある劇場では市民ボランティアは存在しているが、結構な仕事量があり、苦勞しながら集まって、それで初めて公演が成立している実情がある。その劇場は市民が株式会社を立ち上げ運営してきた劇場であり、だからこそ運営スタッフを集めることができる。一方、嘉穂劇場は民間経営だったので市民が参加していない。ここが嘉穂劇場が持続的な運営を行ううえで苦勞する部分だと思っている。主体的かつ持続的に関わってくれる人を増やしていく。また、財政が厳しくなっている中で、嘉穂劇場になら税金を使っていいと考える市民を増やすことが一番重要ではないかと感じる。

#### ⑥ 早期再開に向けた取り組みについて

委員：嘉穂劇場を使えない期間に近隣の状況も変化していくと思うので、嘉穂劇場が置いてけぼりにならないか不安に思う。また、子どもたちには義務教育を終えるくらいまでには、一度は必ず嘉穂劇場を訪れるようにしてほしい。子どもどものときにその場所で思い出があると、絶対なくならないで欲しいという強い気持ちが出てくると思う。

# 会 議 録

	4 その他
	5 閉会